取扱説明書

DAYTONA CORP.
R72896①/④

*取り付ける前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

	適応車種	商品NO.
ヨーロピアンスタビライザー	CB750FC/インテグラ（'81/6～）<RC04> （※CB750FZ/FA/FB（～ '81/5）は装着できません） CBX1000('82)/CB900F('81)/CBX750F('83)/VF750F('83)	72896

この度はデイトナ「ヨーロピアンスタビライザー」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめください。
万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。

■ご使用前に必ずご確認ください■

本書では正しい取付、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。
取扱説明書内の指示や注意事項を守らずに使用した事による事故や損害については、当社は一切の責任を負いません。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止

- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、不用意に曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。商品には指定以外の加工を施さないでください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

実施

- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。

その他

- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

⚠注意

- この商品の取り付けには別途ホンダ純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。
- 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。

実施

- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。
- ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。
- 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行ってください。
- 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。

法令違反

- 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。

その他

- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

□　ヨーロピアンスタビライザー装着についての注意事項　□

- **この商品はフロントフォークやアンダーブラケット等に歪み（曲がり）がある場合は装着できません。正常な部品へ交換後にスタビライザーを装着してください。**
- 商品取り付け後、走行する前にフロントフォークを押して伸び縮みさせ、サスペンションが正常に動作すること、またブレーキホース等がスタビライザーへ接触しないことを必ず確認してください。
- この商品の表面仕上げはバレル処理です。放置しますとサビ（腐食）が発生します。アルミ用の磨き剤等でまめにお手入れしてください。

実施

- 商品付属のボルトはステンレス製です。スタビライザー本体を取り付けする際には以下のネジ焼付き防止剤のご使用をお勧めします。

商品名	商品品番	本体価格（税抜）
カッパーコンパウンド	３５８４３	￥１，３５０
アンチシーズ（２８ｇ）	４０６１５	￥１，４５０
アンチシーズ（５ｇ）	４０６２３	￥５５０

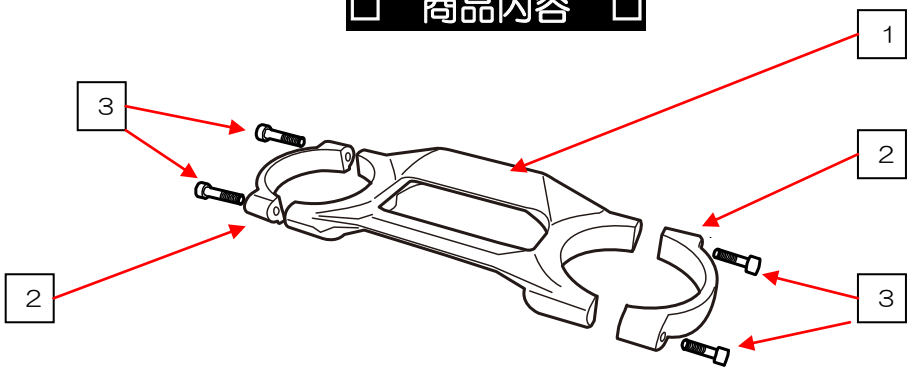
その他

- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。

□　本商品の特徴　□

- フロントフォークのネジレを防止しフロント回りの剛性をアップさせるスタビライザー。
- １９８０年代に流行した３ピースタイプを当時のレトロデザインにて復刻。
- アルミ製バレル仕上げ。

□　商品内容　□



NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
1	スタビライザー（本体）		1
2	フォーククランプ　※スタビライザー（本体）組付済		2
3	六角穴付きボルト（ＳＵＳ）※スタビライザー（本体）組付済	M6×30	4

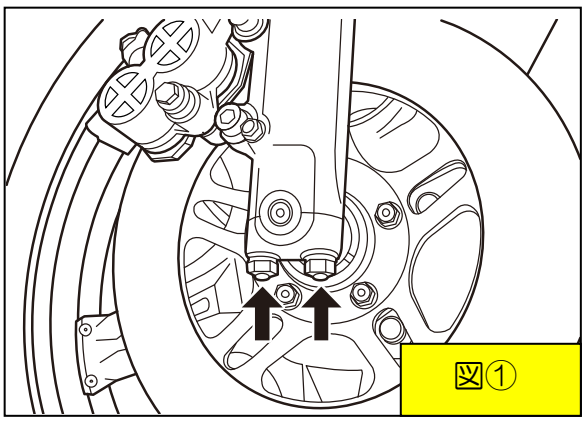
□　取付方法　□

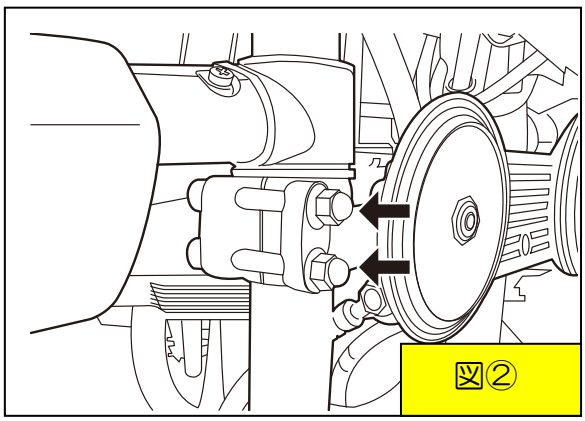
取り付け前に、商品の内容をご確認ください。
エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認して作業を開始してください。
詳細についてはホンダ純正サービスマニュアルを用意し、参照のうえ作業を行ってください。

1. フロントホイールのアクスルホルダナット（左右）を緩めます（図①）

2. アンダーブラケットボルト（左右）を緩めます（図②）

※１、２のボルトとナットを緩めることで、締め付けていた左右のフロントフォーク間のクリアランスが広くなり、スタビライザーを装着するスペースを確保します。（ボルトとナットは完全に抜かず緩める状態となります）


図①

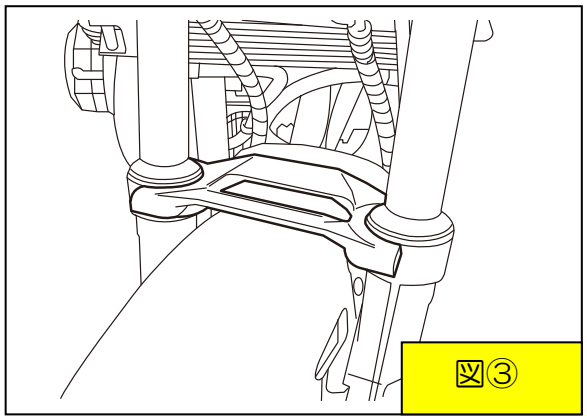

図②

3. スタビライザーの仮り組み付け

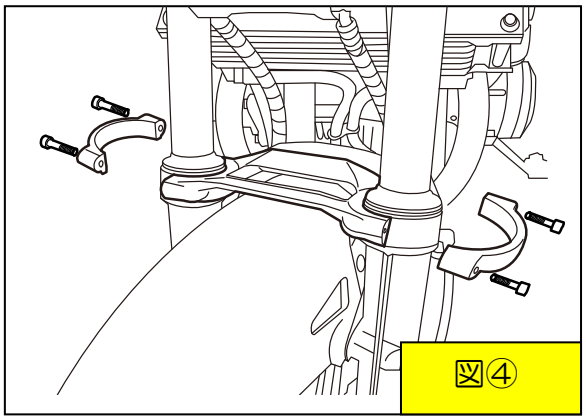
パッケージから組み付け済の①スタビライザー（本体）&②フォーククランプを取り出し、
③ボルトをゆるめて、両側の②フォーククランプを外します。
次に①スタビライザー（本体）を左右のフロントフォークボトムケースの間へ装着します。（図③）

※ウエス等でスタビライザー本体をカバーし、本体にキズが付かないよう注意しながらプラスチックハンマーで軽く叩き、左右均等になるように合わせます。

装着された①スタビライザー（本体）へ左右の②フォーククランプを③M6×30ボルトで
仮締めします。（図④）



図③



図④

4. アンダーブラケットボルトの本締め

※　締め付けトルク（25N・m）

5. フロントホイールアクスルホルダナットの本締め

※　締め付けトルク（25N・m）

6. スタビライザーの本締め

※　締め付けトルク（10N・m）

③六角穴付ボルトを本締めします。
歪みを防止するため、左右の隙間を均等にしながら数回に分け対角に締めてください。

7. フロントフォークの作動確認

フロントブレーキを掛けてハンドルを下へ押し、フロントフォークを伸び縮みさせてスムーズに作動していること、
またブレーキホース等がスタビライザーへ接触しないことを確認し、作業は終了です。

取り付けは確実に行って下さい。また、走行中ネジ部等緩むことがない様に、規定トルクにて確実に締め付けて下さい。
取り付け後、**約１００km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行ってください**。その後は約２００km毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。

⚠注意

走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805

この用紙は再生紙を使用しております。

URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで